

社会福祉法人菊水学園 令和6年度事業報告書

施設整備事業として、令和5年度に完了した菊水館2階のユニット化改修工事に続き、令和6年度はトイレ改修工事を実施しました。

平成28年改正児童福祉法は、「家庭養育優先原則」の理念により、施設は「児童を家庭や里親等の養育環境において養育することが適当でない場合」の養育環境として位置づけています。施設に求められる可能な限り良好な家庭環境と質の高い個別的なケアを実現するための生活環境が整いつつあります。

また、地域交流館のカーペット張替えたことで利用している地域の方から、温かい雰囲気になったと好評を頂いています。

令和6年1月に、定員を42名に下げました。年間で10名の一時保護委託児童を受け入れ、そのうち2名が措置入所となりました。単年度の充足率は90%を下回りましたが、3年間実績の計算式により来年度定員はそのままになります。一時保護やショートステイの児童受け入れに対応できる、人材の確保と育成が求められます。

職員研修には計画的に取り組めました。外部講師による「子どもの権利擁護・施設内虐待の防止」は年3回のシリーズで行い、県外での研修やオンライン研修などにも各職員が関心を持って参加しています。

《児童措置状況》

月 別 (定 員)		4 (42)	5 (42)	6 (42)	7 (42)	8 (42)	9 (42)	10 (42)	11 (42)	12 (42)	1 (42)	2 (42)	3 (42)
児童数	本 園	24	24	23	23	23	23	23	24	25	25	25	25
	さくら	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	あさがお	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	一時保護	1	1	0	0	2	3	2	2	2	1	3	3
	計	35	35	33	33	35	36	35	36	37	36	38	38

年間延べ児童数		月 平 均	充 足 率
菊水学園	427人	35.6人	84.7%

(1) 養育・支援について

子どもが表出する感情や言動を受け止めながら子どもを理解することに務め、秩序ある生活を通して基本的な生活習慣の確立を目指すとともに、人との関係づくりの支援を行う

①食生活

- ・ マナーの習得（箸使い・食べ方・姿勢など）
- ・ 嗜好や健康状態に配慮した食事の提供
- ・ 献立や季節の料理・行事食に関する情報などを掲示し、子どもの発達段階に応じた食習慣を身につけることができるよう取り組む
- ・ 食中毒や感染症の防止や発生時の対応について周知し、園内での感染防止に努める（コロナ・インフルエンザなど）
- ・ リクエストメニュー（誕生日に好きな献立をリクエストする）の実施

②衣生活

- ・ 衣服は清潔で、体に合い、季節にあったものを随時購入して着用
- ・ 職員と一緒に衣類の購入に出かけ、洋服や靴のサイズを知り、衣服を通して適切な自己表現ができるよう支援

③住生活・環境整備

- ・ 居室等施設全体の整備に努め、網戸や窓ガラス、壁紙等の修理については迅速に対応した
- ・ 各自の居室が子ども一人一人にとって、安全・安心を感じられる場所となるように配慮し、整理整頓が苦手な子どもには、置き場所を決めて収納場所

- にラベルを貼るなどの工夫をした
- ・ 樹木の剪定や除草・落ち葉の掃除など、園庭の美化に心掛けた

④健康と安全

- ・ 発達段階に応じ、自己管理ができるよう支援した
(手洗い、歯磨き、洗面、排泄、入浴、着替え、睡眠、服薬など)
- ・ 医療機関と連携して一人一人の子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は看護師に相談しながら適切に対応
- ・ 安全に登下校できるよう通学路を確認し、必要に応じて送迎
- ・ 高校生の自転車は定期的に安全点検(TSマーク)を行う
- ・ 災害や事故発生に備え、毎月避難訓練を実施
- ・ 性教育として、高椋美紀さんによる「生きるための教育」を開催
紙芝居「みんなのいのち」を用いたお話しと相談コーナーを実施
年齢や男女別の8グループに分けて実施(職員も参加)

⑤主体性と自律性の尊重

- ・ 家族会議やスポーツ活動のミーティングにおいて、子ども自身が自分たちの生活について主体的に考え、自主的に改善していくことができるよう支援(意見表明支援)した
- ・ 自分の気持ちをどのように言葉にするかなど、意見を表明するための支援(意見形成支援)も行った
- ・ 計画的な小遣いの使用や金銭の自己管理ができるよう教えた
- ・ 高校3年生がNPO法人B4Sの巣立ちプロジェクトに参加して、退所後の生活について学ぶ(アパートの借り方、ひと月の生活費など)

⑥学習

- ・ 進学支援、就労支援
- ・ 学習環境を整え、学力に応じた学習支援を行い、進路の自己決定ができるように様々な情報を提供するなどの支援を行う
中学3年生 …… 高校進学2名(うち1名は支援学校)
高校3年生 …… 就職1名

⑦心理的ケア

- ・ 心理的ケアが必要な子どもには、心理士が定期的にカウンセリングを行う
- ・ 発達検査や知能検査を行い、必要に応じて医療機関に繋げる

⑧自立促進とアフターケア

- ・ 子どもが安定した社会生活を送ることができるように、退所後も電話や訪問による交流を行う。相談や状況報告で来園する子どももいた

⑨スポーツ活動

- ・ 希望者は学校の部活動に入部。目的を持って積極的に活動できるように支援した(陸上部・バドミントン部)
- ・ 年間を通してスポーツ活動を行う
児童福祉施設球技大会、秋季児童養護施設親善スポーツ大会
熊本西ロータリークラブ杯 駅伝&マラソン大会

⑩社会教育活動

- ・ 小学生女子5名がガールスカウト熊本県第10団に所属し、他の団のスカウトやリーダーとの交流を深め、募金活動などを行った

(2) 家族への支援

①家族関係の調整

- ・ 児童相談所や関係機関と連携し、家族からの相談に応じる
- ・ ファミリーソーシャルワーカーが児童相談所の担当ケアワークと家庭を訪問し、面会や外泊を促すなどしながら、子どもと家族との関係作りに取り組む

②家庭復帰

- ・ 親の就労状況や生活状況、安定した生活環境や親子関係などを把握し確認しながら家庭復帰のための支援を行う(家庭復帰1世帯)

③家庭生活体験事業

- ・ 里親専門相談員が家庭との関わりが無い子どもに里親登録者との交流を提案し、外出や外泊を通して関係を築く(児童1名実施)

(3) 地域への支援

①関係機関との連携

- ・ 児童相談所と子どもや家族の情報を共有し、解決に向けて協働して取組む
- ・ 小・中学校、高等学校と連携を密にとり、施設の支援方針と学校の指導方針とを確認し合いながら対処した（教育相談、個別ケース検討会など）
- ・ PTA 活動や学校行事に積極的に参加協力する

②地域に対する子育て支援

- ・ 熊本市と子育て短期支援事業委託契約。ショートステイ事業を実施
- ・ 託麻原校区の子育て活動や他の各種団体の会議や研修に会場を提供
- ・ 毎月第1土曜日に交流館で2町内サロンを実施

③地域との交流

- ・ 自治会や子ども会等と協力して再生資源回収を行う
- ・ 自治会役員として会議やイベントに参加協力する

(4) 職員の資質向上

①研修会への参加

- ・ 九州地区児童福祉施設職員研究大会（佐世保）、児童養護問題研究会（大阪）、性教育研修（東京）、西日本セミナー（山口）、全国施設長研究協議会（金沢）など、集合型の研修会に参加する。
- ・ ZOOM や Web 配信の研修を受講して、専門的知識を習得
- ・ 施設内研修の実施（全職員が参加）
にじいろ CAP 代表理事 重永侑紀氏 「権利条約・子どもの権利擁護など」
人権研修（Web）、アドボカシー研修（ナリビト）

②支援についての相談の場を設ける

- ・ 年度初めに全児童の自立支援計画を作成、必要に応じて変更
- ・ 各ホーム1回／月のケース検討会を行う。子どもの状況と対応について、施設長や専門職職員（心理士・FSW・看護師）からの意見や助言を交えて支援方法を検討する
- ・ 職員と施設長との面接の機会を設けた。新規採用職員には各ホームリーダーが主となってサポートする他、看護師や心理士が日頃から声を掛けるなどして職員の困り感に早期に気付くことができるよう努めた

③職員の働きやすい環境を整備

- ・ ホームリーダーが週休や勤務時間の調整を行い、年休取得を推進するなどして働きやすい環境作りに努めた。

(5) 運営について

①運営理念の確立と周知

- ・ 理念：「子どもの最善の利益の追求」の周知を図る

②事業計画の実施

- ・ 施設整備 菊水館2階トイレ改修工事
- ・ 土地の購入 熊本市中央区渡鹿5丁目768-2

③職員採用(募集)

- ・ 大学や専門学校等に求人を出すと同時に、求人情報サービス業社に登録
- ・ 令和7年度の新規採用職員は、ケアワーカー7名・里親SW1名

(6) 主な年間行事について

期 日	行 事	内 容
4 月 1 日	辞令交付式	新規採用職員 8 名
3 日	お花見遠足	立田山・お祭り広場など
6 日	くるみ幼稚園入園式	1 名
12 日	帯山中学校入学式	5 名
11 日	託麻原小学校入学式	1 名
28 日	交流試合（野球・バレー）	
5 月 23 日	消防設備点検	末吉商会
18 日	帯山中学校運動会	
19 日	ガールスカウト熊本県連盟 ふれあいの日	熊本市博物館
25 日	託麻原小学校運動会	
26 日	サツマ芋苗植え体験	熊本南ライオンズクラブ 招待行事
6 月 22 日	薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」普及運動	ガールスカウト活動。下通りにて
29 日	法律教室（高校生参加）	熊本県青年司法書士会
7 月 7 日	七 夕	
14 日	食 育 ～朝ご飯は大切～	栄養士による講話 交流館
15 日	熊本県児童養護施設球技大会(野球)	熊本県運動公園
19 日	にじいろ CAP ～子どもの権利擁護～	施設内職員研修第 1 回
26 日	熊本県児童養護施設球技大会(バレー)	ウイング松橋
8 月 4 日	2 町内夏まつり	北原公園にて
7 ～ 20 日	ホーム毎の一日旅行	福岡・別府・天草など
9 日	夏まつり	菊水学園食堂・交流館
27 日	納涼夕食会「葉月の夕べ」	熊本東 RC さま
9 月 15 日	お月見会	プレイルームでお話し・クイズ など
10 月 6 日	校区運動会	
19 日	児童養護施設親善秋季スポーツ大会	フットサル・バドミントン
20 日	ガールスカウト熊本県連盟ラリー	くまモンポート八代
26 日	託麻原小創立 70 周年記念 学習発表会	託麻原小体育館
27 日	芋掘り体験	熊本南ライオンズクラブ 招待行事
11 月 5 日	にじいろ CAP ～子どもの権利擁護～	施設内職員研修第 2 回
14 日	消防点検	末吉商会

16 日	職業体験イベント 日本青年会議所主催	熊本大学
12 月 7 日	もちつき 農業後継者クラブ 中央支部	第 49 回(R2 ～ 4 はコロナで中止)
14 日	もちつき	未来の会様
15 日	クリスマス会	熊本南ライオンズクラブ様
15 日	児童養護施設交流 e スポーツ大会	熊本市共同募金委員会主催
21 日	犬や猫ってどんな動物? ～命の授業～	ゾエティスジャパン様・熊本動物学院様
22 日	クリスマス会 ベルエアマックス様	
28 日	熊本ヴォルターズ観戦	&様招待
31 日	おせち料理 寄贈	ホテルキャッスル様
1 月 1 日	元旦	新年会 神社参拝
5 日	延期による 菊水学園クリスマス会	児童館 2 階ホールにて
13 日	託麻原校区 避難訓練・どんどこや	託麻原小運動場
26 日	熊本西ロータリークラブ 杯 駅伝&マラソン大会	県民総合運動公園
2 月 3 日	節分 海苔巻き寄贈	海苔巻き普及会・寿司協会
11 日	野球教室 元 SB 新垣投手来園	そごう西部・県遊技業協同組合 様
3 月 1 日	高校卒業式	卒業生 1 名
3 日	ひなまつり	雛かざり 行事食
7 日	帯山中学校卒業式	卒業生 2 名
15 日	マグロ解体ショー	市内 4 施設を田崎市場様他招待
19 日	にじいろ CAP ～子どもの権利擁護～	施設内職員研修第 3 回
21 日	託麻原小学校卒業式	卒業生 1 名
23 日	卒業お祝い会	

〈毎 月〉

- ・避難訓練
- ・お誕生日会 …… リクエストメニューとケーキでお祝い
- ・ホーム単位での外出（買い物・映画・ラウンドワン・カラオケ・食事など）

〈定期的なボランティア等〉

- ・散髪奉仕（幼児・小学生・中高校生男子） …… 熊本県聾者理容組合
- ・熊本大学教育学部学生 …… 学習支援（週 2 ～ 3 回）

(7) 苦情解決体制整備について

申し出人	内 容	対 応
8月16日 入所児童(A君)の母親から電話	外泊で迎えに来たとき、子どもの髪を見て、「これはひどい!」と思い、子どもに聞いたら、「学園の先生が切った」と言った。 「本人は気にしていないけど、会うのを楽しみにしている私にとっては、とてもショックでした」 「予定を変更して、まず散髪に行き整えてもらいました。」 「H先生に切ってもらったと話しているけど、嫌がらせでは?」 「ひどすぎるし、悲しい」と話された。	まず謝罪する。 他児がH先生に切ってもらったのを見て、A君が「自分も切って欲しい」と頼んで切ってもらったと聞いている。嫌がらせではなく、職員の「腕」が悪かったことを説明した。 ----- 担当の職員も「これはどうかな?」と思ったが、床屋で散髪し直すという考えには至らなかったことを反省している。 いつも散髪に行っているのに、今回は施設長やFSWへの相談なしに、担当ではないH先生に切ってもらったのかは不明。
8月18日 来園	「H先生に直接会って話をしたい。」と話される。	施設長が同席してH先生と話をした。 「本人が切って欲しいと言ったので、切ってあげました。自分としてはうまくできたと思うのですが」と説明。 「決して嫌がらせとかではないですよ」と話すので、母親もわかりましたと納得された。 次回からは職員ではなく床屋でカットしてもらうことを約束した。 職員への指導 親御さん達は、子どもと会った時の様子(髪型、服装、ほつれや汚れ、言葉遣い)から「日常」を連想される。 外出や外泊の際には、持ち物等にも気を配ることを指導した。
12月8日 入所児童の母親(Yさん)	日曜参観。 子どもの上靴に穴が空いている。 ボロボロで汚い。 新しい上靴を購入しても良いですか?	「教えて頂きありがとうございます。施設で購入します。」と返事する。 12/9に購入。 毎週持ち帰ってはいるが、洗っておらず、職員も確認していないことがわかった。 全職員に対して、上靴などの持ち物の確認を怠らないよう指導する。